

# 日韓外相会談粉砕!

全この同志、友人諸君!

七十七年日本階級闘争は、歴史的決戦入年を向かえんとしている。一月十九日入三里塚決戦を契機に階級激突の闘いは開始されたのである。

日本帝国主義は、朝鮮侵略反革命戦争への絶望的突入を開始せんと、年頭より、三里塚空港開港策動、沖縄軍用地確保新法案の上程と続々と戦争体制への全面的突入を宣言し、暴力的に強行せんとしてきた。そのことは、米軍の韓国からの撤退等を軸にした帝国主義体制的再編の中軸として、日帝の朝鮮侵略反革命への全体重をかけた登場に他ならないのであり、ニクソンドクトリのさらなる強化に他ならないのである。一月十八日から始まるうとしている日韓外相会談こそ、三入の一歩であり、後々日米首脳会談、先進国首脳会談をもって、完全に反革命体制を強化せんとしているのである。

日韓外相会談を粉砕し、朝鮮侵略反革命戦争を阻止せよ!  
戦後帝国主義世界体制は、インドシナ民族解放-革命戦争の勝利の地平を受け激発する民族解放闘争の前に植民地支配体制は根底的危機に直面しており、同時にIMF、GATT体制の崩壊に示されるように帝国主義間対立を激化させ、さらに危機を深めているのである。

こうした中で、日本帝国主義は最後の逆命の躍を朝鮮侵略反革命戦争に、求めているのである。ロッキード事件、日韓工着問題と続発する日本帝国主義の構造的危機に対して、日帝にとって一切解決する能力を失なう中で唯一戦争体制の確立-ボナパル革命をもつてのりきらんとしているのである。天皇制・天皇制イデオロギー攻撃を始めとして進められているのである。

打ち続く韓国人民の革命的決起に示される情勢こそ、日帝-朴体制の危機を如実に示しているのであり、このことは、カーターの在韓米軍の撤退に示される米軍の反革命戦

略の再編の中の日帝は、アジアの盟主としての登場を全面的侵略反革命戦争としてのりださんとしているのである。

十八日から行なわれようとする日韓外相会談は、日帝-朴体制の強化-植民地支配の強化を、日帝が全体重をかけた押し進めんとすることに他ならないのである。ニクソン・フォードドクトリンを受けたカーターが、日韓の軍事的再編強化を押し進めんとすることに他ならないのである。

われわれは、不屈に闘い抜く朝鮮人民との革命的連帯を、我身をかき日韓外相会談を粉砕し、朝鮮侵略反革命戦争を阻止しなければならぬ。

朝鮮侵略反革命戦争体制確立=三里塚空港開港、沖縄軍用地確保新法案を粉砕せよ!

福田の年頭の宣言に示される戦争体制確立へ向けて日帝は、三里塚空港開港、軍用地確保新法案を存心としても確立せんとしている。

三里塚闘争は、十一年にわたる反対同盟農民を中心とした労農学生団結の全成果が向かわる重大な決戦として鉄塔決戦を4月にも向かえんとしている。何ら一切のメドもたたないにもかかわらず、侵略反革命の拠点として唯一政治的意図を持った攻撃であり、鉄塔決戦を反対同盟と固く連帯し勝利しなければならぬ。

侵略反革命戦争へ向けての前線基地として打ち固めんとしている沖縄には、全島あげての日米基地撤去の闘いに對して、基地確保新法案をもって日米軍事基地の永続的固定化、強化を存心としているのである。沖縄人民に対するこの攻撃を我々は血償にかけ粉砕しなければならぬ。

全この同志、友人諸君!

今春期の二大決戦を必ずや勝利し、朝鮮侵略反革命戦争を阻止する一大階級の高揚を盛りあげていこうとせよ。日本反帝戦線は、全能力をかけた決戦を固く打ち抜く決意である。共に闘え!

# 日本反帝戦線 (戦旗派)